

写真は撮れていない。北潟湖では夏～秋に幼魚が海に近い汽水域にまで侵入してくる。

アジ科 マアジ属

【全長】 40cm

マアジ

学名： *Trachurus japonicus*

分布域

日本全国の沿岸域。朝鮮半島、中国東部・台湾などに広く分布。

生息域

大陸棚を含む沖合～沿岸域の中層～下層に生息する。

口には薄い膜があり筒状に開く。

最もポピュラーな海水魚といえる。汽水域にも全長10cm前後の幼魚がよく侵入する。側線上に棘状の鱗が並び特徴的。側線は体の中程で大きく腹部側に湾曲する。口は大きく、筒状に開く。体色は背面側が青緑色、腹面側が銀白色。鰓蓋の後方に黒色斑がある。回遊型と居付き型の二つの生活形態が知られる。食性は肉食性で動物プランクトンや甲殻類・底生動物・イカ・小魚などを捕食する。産卵期は福井県付近では5～6月頃で分離浮遊卵を多く産む。大きい個体は50万粒以上も産卵する。重要な食用魚で美味しく、釣りの対象としても人気が高い。

水槽飼育は経験不足だが海水を用い、エサに活きたエビを与える。

在来種

周縁魚

※二つの生活形態が知られ回遊型は季節によって沿岸～沖合の中層～底層を群れて回遊し、春に北上し、秋に南下する。居付き型は浅い岩礁部に定着し季節によって回遊しない。